

AvePoint Compliance Guardian 3

SP1 CU2

リリースノート

リリース日: 2013 年 10 月 1 日

新機能と強化点

- SharePoint 用リアルタイム分類スキャナーでは、リアルタイム プランの定義場所や子ノードが親ノードからプランを継承するよう設定されているかどうかなどの情報をグラフィカルなキュー画面で確認しやすくなりました。
- 全 Compliance Guardian インターフェイスにおいて、従来の TDF (テスト定義ファイル) が **チェック**、TDF コレクションが **テスト パッケージ** という名称に変更されました。
- Compliance Guardian 分類スキャナーでは、レポート データベースに対する分類やアクション ポリシーはすべてログとして記録されます。
- Compliance Guardian のライセンス制御ロジックが拡張され、ファイルシェアや Web サイト対象のスキャナーにも対応しました。
- Compliance Guardian の従来のスキャン技術に加えて iFilters 機能を使用することで、テスト パッケージによるテキストのみのスキャンにも対応しました。これによりスキャン対象となるファイル タイプが大幅に増え、より柔軟なスキャンが可能になります。
- **[FileProperty]** チェック タイプを使用することで、サイズやコンテンツ タイプなどのファイル プロパティのテストに対応しました。
- Compliance Guardian のフィルター ポリシーの精度向上により、新たにファイル システムおよび Web コンテンツを対象としたフィルタリングに対応しました。
- **[CustomCheck]** 機能により、Regex および Complex Regex チェックを使用してチェックの True/False 結果を検証する外部機能を実行できるようになりました。
- **[LinkValidation]** チェック タイプを使用し、コンテンツのリンクやお気に入りを検証するテストを実行できるようになりました。
- コンプライアンス スキャン機能のテスト パッケージでは、新たに 3 種類の定義可能なリスク レベル (基礎リスク、増幅リスク、相対リスク) が追加されました。
- テスト パッケージ マネージャーでは、リスク計算の数式のカスタマイズに対応しました。
- スキャン済みファイル レポート内のエラー ハイライト機能で、JSP、PHP、PDF、DOC、DOCX、XLS、XLSX、PPT、PPTX ファイルに対応するようになりました。これにより、Compliance Guardian で定義したテスト パッケージに違反するコンテンツの条件を確認することが可能になります。
- スキャン済みファイル レポートでは、ファイルに実行したテスト パッケージ内の各チェックの **ポリシー URL** ハイパーリンクを表示できるようになりました。

- コンプライアンス ダッシュボード内で、希望するスキャン ポリシーのグループを既定の表示に設定することができるようになりました。
- Compliance Guardian SharePoint スキャナーでは、SharePoint 2010/2007 に加えて新たに SharePoint 2013 ファームのスキャンにも対応しました。
- 新機能の Web サイトスキャナーにより、作成・保管システムに関わらずあらゆる Web サイトや Web アプリケーションを対象とするコンプライアンス スキャンに対応しました。
- 新機能のファイルシェア スキャナーにより、UNC パス経由でアクセス可能な Windows ファイルシェアを対象としたコンプライアンス スキャンおよびスケジュール分類スキャンが可能になりました。
- Compliance Guardian テスト パッケージでは、バージョン ラベル機能に対応しました。
- Compliance Guardian リスク レポートでは、新たに追加されたリスク計算機能に基づいてリスク優先度を指定し、優先度ごとのリスクのソートやフィルタリングが可能になりました。
- リハビリテーション法第 508 条 (米国) および WCAG 2.0 (ベータ版) 対応のテスト パッケージが同梱されました。
- テスト パッケージ検証ツールを使用する際、エクスポートするテスト レポートの内容がより詳細なものになりました。
- **移動** アクションのロジックが強化され、移動先の SharePoint リストが移動元と同一の設定およびメタデータを保持していない場合でも、アクション ポリシーの結果としてコンテンツの移動を実行できるようになりました。
- Compliance Guardian インターフェイスにトップ ナビゲーション バーが追加されました。
- ComplexFind テキストおよび ComplexRegex チェックに **ResultNA** 属性が追加されました。
- スキャン ポリシーでは、チェックの詳細な情報を CSV ファイルでエクスポートする **エクスポート** 機能が追加されました。
- Compliance Guardian 分類スキャンでは、SharePoint 2010 および SharePoint 2013 の Managed Metadata 列に対応しました。
- Compliance Guardian インターフェイス上でキーボードの **F1** を押下すると、ヘルプを表示することができます。
- 分類スキャナーでは、ジョブ モニター内でのファイルの移動先情報を表示し、通知メールを送信する機能に対応しました。

既知の問題

- ファイル バージョンをスキャンする際に増分スキャン ジョブでスキャン対象となるのは増分のバージョンだけでなく、完全スキャン ジョブと同様に全てのファイル バージョンがスキャン対象となります。
- SharePoint API の制限により、増分スキャン ジョブでは添付データからアイテムまでのスキャンを実行することはできません。
- 日本語環境では、Microsoft Excel ファイル内の日付はスキャン対象となりません。この問題の対処法として、Compliance Guardian エージェントがインストールされたマシン上で日付の形式を [YYY Y-MM-DD] に変更する必要があります。
- 日本語環境では、Compliance Guardian スキャナー ジョブを実行すると、日本語名を持つテスト パッケージがジョブ内に含まれます。このジョブの完了後にスキャン結果レポートをエクスポートすると、データの含まれないレポートのみがエクスポートされます。
- Web サイト用コンプライアンス スキャナーでリスク レポートをエクスポートする際、**作成者** 列および **最終更新** 列に値が含まれません。
- Windows Server 2012 または Windows Server 2008 がインストールされたマシンに Compliance Guardian 3 SP1 をインストールすると、エラーが発生して Compliance Guardian マネージャーが開かないことがあります。この場合の対処法として、**IIS マネージャー > アプリケーション プール** に移動して **ContentCompliance** を開き、**詳細設定** を選択します。詳細設定インターフェイスで、.NET フレームワークのバージョンを 4.0 に変更してください。
- Web サイト用コンプライアンス スキャナーで、Web ページのクロールの際に同時にアクセスできるスレッド数が複数ある場合、スキャンのクロール ジョブ中にエラーが発生して Web サーバーでの複数の接続が承認されない場合があります。この場合、以下のメッセージが表示されます：**転送接続からデータを読み込めませんでした。既存の接続はリモート ホストにより強制終了されました。**この問題は、複数のリクエストをサーバーに送信する際、サーバーがリクエストを処理できないことが原因で発生します。
- SharePoint からダウンロードした ASPX ファイルのソース コードは、対応するエラー ハイライト レポートと異なる内容と同一ではありません。ASPX ファイルのソース コードは IIS 上で解析されてからクライアントに送信されるため、SharePoint から直接ダウンロードしたコードと異なるものになります。
- ファイル システム用コンプライアンス スキャナーおよびファイル システム用スケジュール分類スキャナーでは、接続名による条件に基づいてフィルター ポリシーを定義することができますが、この条件はフィルター ポリシーでは無視されます。接続名はフィルター ポリシーに影響を与えるものではないため、フィルター ポリシーでフィルターアウトされません。

- リアルタイム分類スキャナー ルールをライブラリに適用した場合、ルール内のスキャン ポリシーに従ってファイルおよび SharePoint にタグが追加されます。SharePoint でライブラリを選択し、リボン上で **新しいドキュメント** を選択すると、新規に作成されるドキュメントおよび SharePoint にはタグは追加されません。
- ファイルのスキャン後に HTML ファイルのエラー ハイライト レポート ページを入力すると、レポートが正確ではない旨のメッセージが表示されます。この問題は、SSL タイプのチェックを使用している場合に発生します。
- Web サイト用完全コンプライアンス スキャナー ジョブの実行後にスタート URL に対応する Web ページに新しいリンクを追加し、**参照時間** を構成して増分ジョブを実行すると、指定の **参照時間** に含まれないリンクは増分ジョブでスキャンされます。
- ファイル内に違反が大量に検知された場合 (3500 以上)、対応するエラー ハイライト レポート ページに移動しても応答しない場合があります。
- Compliance Guardian 3.0.2 から 3.1.2 にアップグレードした場合、前バージョンのファイルからのリスク レポートに、対応するテスト パッケージが表示されない場合があります。これは、該当ファイルのテスト パッケージをリスク レポートに表示する機能は本バージョンからの新機能のため、前バージョンのデータに対応するテスト パッケージの情報が無いために発生します。
- 増分スケジュール分類スキャナー ジョブでは、他のプロセスで編集されていないものであっても、過去のジョブでタグ付けされたファイルをすべてスキャンします。
- Web サイト用コンプライアンス スキャナーを実行する際に **認証** 方式で **証明書** を選択した場合、エージェント アカウントは現在ログイン中のユーザーか、または Compliance Guardian エージェントがインストールされているサーバーの **管理者** グループ内メンバーである必要があります。

通知

本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権

Copyright © 2013 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0075 東京都港区高輪 4 丁目 10-18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。

登録商標

AvePoint®、DocAve®、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010/2013、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0075 東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階